

2018年12月～2019年11月に刊行された日本人作家の小説の中で、書店員自身が自分で読んで、いちばんお勧めしたいと思った作品です。

全国書店員の投票で選ばれたベスト10

2位 『ライオンのおやつ』  
小川糸(ポプラ社)

3位 『線は、僕を描く』  
砥上裕将(講談社)

4位 『ノースライト』  
横山秀夫(新潮社)

5位 『熱源』  
川越宗一(文藝春秋)

全国書店員が選んだ  
いちばん！  
売りたい本



2020年本屋大賞  
大賞  
『流浪の月』  
風良ゆう(東京創元社)

6位 『medium 霊媒探偵城塚翡翠』  
相沢沙呼(講談社)

7位 『夏物語』  
川上未映子(文藝春秋)

8位 『ムゲンのi』  
知念実希人(双葉社)

9位 『店長がバカすぎて』  
早見和真(角川春樹事務所)

10位 『むかしむかしあるところに、死体がありました。』  
青柳碧人(双葉社)

Supported by

NOLTY® PAGEM  
ノルティ ペイジエム

手帳ブランドNOLTY / PAGEMは本屋大賞に協賛し、応援しています。